《 小野連携型小中一貫校便りNo.５　Ｒ６/３/１５ 》

小野の学舎（まなびや）

文責　藤岡市立小野小学校　校長　村田仁志（22-2546）
藤岡市立小野中学校　校長　大倉　猛（24-0104）

第５回学校運営協議会を開催しました

２月１６日（金）、小野中学校で第５回学校運営協議会を開催しました。今回は、まず始めに会長より、群馬県教育委員会より発出された保護者・地域の皆様向けの「働き方改革」へのご理解、ご協力をお願いするプリントの紹介がありました。その後、「小野連携型小中一貫校における藤岡教育の授業チェックシート」を使って、中学校の授業参観を行い、昨年１２月に実施した「学校評価アンケート結果」の熟議を行いました。

授業について、また「学校評価アンケート結果」についての熟議では、各委員からたくさんのご意見をいただきました。いただいたご意見を次年度に実現できるよう取り組んでいきたいと思います。委員の皆様が小野の子供たちのことを親身に考え、期待してくださっていることがよく伝わりました。熟議で出されたご意見の概要を紹介します。

＜熟議：「中学校の授業」について＞

○　子供同士で意見交流する姿がどの授業でも見られ、自主的に活動している様子が見受けられた。

○　子供たちが分かりやすく学べるように、ＩＣＴやホワイトボード、ネームプレートやモニターの活用が工夫されていた。

○　グループワークや発表が中心のアウトプット型の授業が多く、知識の定着に向けて工夫が感じられた。

○　「これまで」「ここでは」「このあとは」という、小中の学びのつながりが先生や子供たちに意識されているように感じた。

＜熟議：「学校評価アンケート結果」について＞

○「読書の時間の位置づけ」について
- スマホで情報を得たり、動画で勉強したりすることが、子供たちにとって主流になっている。読書の時間を意識して生み出していかないと、読書をする習慣をつくるのは難しくなってきている。
- 本でも電子書籍でもよいので、文章に触れる機会を多くつくっていくことが大切ではないか。

○「自分の考えがなかなか発表できない」ことについて

- 集団生活においては、少なからず同調圧力が存在する。そんな中で、自分の考えを堂々と発表できるようになってほしいが、難しいとも感じる。
- 学級会や委員会活動では発表するのが難しくても、授業中は発表できる子供も多い。小野校区の子供の強みは「表現力」であり、「表現力」の育成は結果にも表れてきている。

○「先生に悩み等を相談できない」ことについて
- 70％の児童生徒が相談できると答えているのは、高いように感じる。先生方が折に付け、声がけしている成果ではないか。
- 小中の授業を参観して感じたが、先生と子供の距離が近いように見える。今後もよりよい人間関係づくりに尽力してほしい。

※　アンケートの「設問内容」について、今後さらに検討していく必要がある。

令和５年度も、ご家庭、地域の皆様に大変お世話になりました。令和６年度もよろしくお願いいたします。

おのハンモックだより

No.5

地域学校協働本部/コーディネーター　R6.3.15 発行

今年もお世話になりました！！

毎年小野中卒業生に向けたまゆ花コサージュを作成していただいている「更生保護女性会」の皆さんを今年も取材いたしました。

メンバーのおひとり、〇〇　〇〇〇さんのコメントです。

『まゆ花つくりを初めて１０年目ですが、毎年講師の方のおかげで楽しく作らせてもらっています。当日は生徒さんがこのコサージュのように華やかな気持ちで卒業式を迎えられると思います。微力ではありますが、また参加させていただきます。』

小学校には上履き型のストラップ

今年は３色のハナミズキ。おのハンモックからも作成時に保護者が数名参加いたしました。そして３月６日に無事贈呈式も行えました。毎年卒業生の門出を祝い、心をこめてコサージュを作っていただいている更生保護女性会の方々に感謝です！

また、更生保護女性会の皆さんには１月に小野小音楽室にある楽器のカバー作りもしていただきました。

ありがとうございました！！

中学校では毎年元教員の方々による３年生への「面談練習」が行われます。

今年も本番さながらの緊張感の中、実際の面談でも実力をおおいに発揮できるよう面接官役の方たちに鍛えていただきました！

緊張しながらもしっかりと受け答えをしている生徒の様子

冬のビオトープ行ってきました

一年を通してのビオトープ学習、寒さに負けずと元気な４年生が行ってまいりました。

『企業と地域が一体となって、四季の自然を、教師以外の大人と接しながら学ぶ機会が頂け、大変素晴らしい学習環境だと思う。企業側のご負担も大変ではあるが机上では学べない事が沢山有ることを、改めて知ることができる貴重な学習であり将来働きたい会社として子供たちの記憶にも残るので、是非継続して頂きたい。』　〇〇　〇〇

読み語り体験

２月上旬に小野小３年生が総合の授業で読み語りに挑戦しました。読み語りボランティア「きらきら」から数名の方に来ていただきコツを教えていただいたあと実際に絵本を読んでみました。

『おかげさまで無事終了いたしました。絵と言葉で相手にしっかりその感動を伝えることが理解できたのなら幸せです。お世話になりました。』

〇〇　〇〇

児童の感想

- 楽しかった
- 登場人物の気持ちになって読めるようになった
- コツがわかった
- 次はもう少し大きな声で読みたい

★★５年生家庭科　初めてのミシン学習★★

ボランティアの方々に丁寧に教えていただきました！

『４年ぶり、２回目のミシンボランティアをさせて頂きました。ミシン縫いも几帳面に奇麗に縫えた子、縫えたからＯＫな子と個性が見えた授業だったのかなと思いました。最後まで怪我する子がいなく、こちらも楽しく参加させて頂きました。ありがとうございました。』

〇〇　〇